

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月27日

鳥取県知事 様

提出者

住所 広島市中区上八丁堀8番2号

氏名 清水建設株式会社 広島支店

執行役員 支店長 池田 耕二

電話番号 082-225-4677

(担当部署：安全環境部)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清水建設株式会社広島支店
事業場の所在地	広島県広島市中区上八丁堀8-2
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1, 2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

		【目標】	別紙1, 2のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成25年度)実績量
 計画：今年度(平成26年度)計画量

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻								
汚泥		200						
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類	47.8	50						
紙くず	7.2	10						
木くず	64.4	50						
繊維くず	0.0							
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず	20.5	20						
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	16.5	10						
紐さい								
がれき類	1756.8	500						
動物のふん尿								
動物の死体								
ばいじん								
建設混合廃棄物	2.8	10						
石綿含有産業廃棄物	1.5							
合計	1,917.5	850	0	0	0	0	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項												
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画			
燃え殻													
汚泥		200				200							
廃油													
廃酸													
廃アルカリ													
廃プラスチック類	48	50											
紙くず	7	10											
木くず	64	50			50.0	50							
繊維くず	0												
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	21	20			20	20							
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	17	10											
鉱さい													
がれき類	1757	500			1118	450							
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
建設混合廃棄物	3	10											
石綿含有産業廃棄物	1.5												
合計	1918	850	0	0	1188.0	720	0	0	0	0	0	0	0

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	平成25年度完成工事高 30.9億円（鳥取県内）
③従業員数	372名（広島支店）平成26年4月1日現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物処理業者へ処理委託（収集運搬・処分共）

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等）

別紙に組織図を記載

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 1. 工事毎に処理計画を立て排出量の管理を行い減量化に向けて取り組んでいる。 2. 4R運動（Refuse・Reduce・Reuse・Recycle）を各現場毎に取り組んでおり、分別回収を徹底している。
②計画	（今後実施する予定の取組） 1. 工場でのプレカットにより搬入量削減を計画する。 2. 使用資材の梱包材の減量化を推進する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 4R運動を展開している
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き4R運動を継続し分別に努める。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実施なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施なし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実施なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施なし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実施なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 実施なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実績のある産業廃棄物処理業者に収集運搬・処分を委託している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後とも優良な産業廃棄物処理業者を選定して委託処理する。

産業廃棄物管理組織

